鳥海讃歌

ＧＴＨ通信　第12号　令和２年１月１５日（水）
校長室より

プログラミング（的）思考が仁高を拓く！

三学期が始まりました。今年は２０２０東京オリンピックの年。世の中ではSociety5.0をはじめ合い言葉に、新しい時代に求められる人間像を提起しています。その中の一つにプログラミング教育があります。

仁賀保高校では、平成１５年に情報メディア科が創設され、情報化社会をリードする人間を育成してきました。プログラミング教育に関しても、世の中が推進する前から取り入れています。先見の明があると思います。また、令和２年４月からは小学校でプログラミング教育がスタート、その後に年度進行で中学校、高等学校でも本格実施されます。

本校情報メディア科では、一昨年からにかほ市と連携して、市内の小学生にプログラミング初歩のと基本を教えるお手伝いをしてきました。冬季休業中の１２月２４日（火）には、情報メディア科の生徒が象潟小学校５年生のプログラミング授業に先生役として参加し、令和２年１月７日（火）に平沢小学校を、８日（水）は象潟小学校を会場に、市内の小学生を対象にしたプログラミング教室のお手伝いもしています。
情報メディア科の生徒は、これからのプログラミング教育を先取りして、小学生にアドバイスする先生役を体験しているのです。

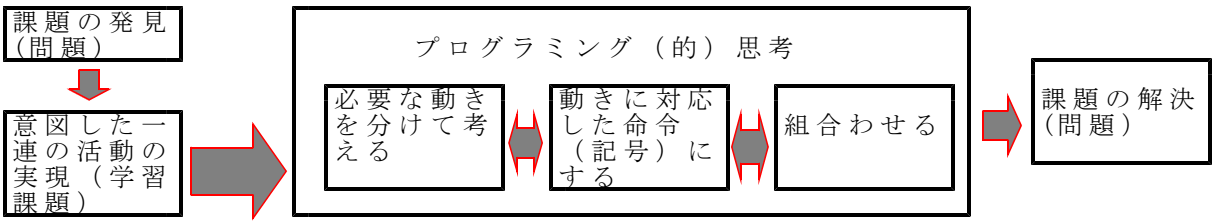
この取り組みは、プログラミングの方法をコーディング等を通して、スキルとして身に付ける事が狙いですが、実はプログラムを組むと言うことは、「情報」以外の学習や研究活動における考え方、研究の進め方を確認できる思考です。

ここで、プログラミング思考について確認しておきます。

プログラミング（的）思考＝論理的思考＋システム思考

論理的思考力　＝　物事を正しく分類、分析（要素に分解）する力
システム思考力　＝　要素同士の組み合わせ（関係性）を考える力

このことを意識して問題解決の流れを示してみましょう。



これを料理（カレーライス作り＝課題発見）で考えてみましょう。おいしいカレーライスを作る＝学習課題の実現のためにプログラミング思考（ＰＴ）を活用。まず材料をそろえ、料理する必要があります。どんな具材をどういう順番でで料理するか料理工程を練りまします。実際に作ってみたら市販のルーとも飽きでしょう。スパイスを組合わせてカレールーを作るなどの試行錯誤を繰り返すこともあるでしょう。最後に納得のいくカレーライスが完成（課題解決）したら感動ですよね。実は、私たちはＰＴを普段から生活の中で無意識的に取り入れています。仁高では今回、ＰＴを「意識化」すること提案しているのです。

秋田県内で唯一、全国でも数少ない学科をもつ本校の利点を活用して、今年は仁高全体で「プログラミング思考」＝Programming Thinkingを学びの基本に加えていきましょう。この考え方を「意識化」して日々の生活や学習活動に取り組んでみましょう！

仁高生よ、清新の気風を感じて進め！

★ **アイコンタクト（ｉ　ｃｏｎｔａｃｔ）**を心がけてください。目と目で通じ合い、face to face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ！

★ **メモ**をとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、将来必ず役に立ちます。

★ **意識力**＝意思・意志（瞬間）＋気力（持続）です。意識力を育成することで、学ぶ力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きましょう。

★ **ＧＴＨ**は、「疑問→探究→発見」という学びの方程式です。

★ **「自己有用感」**を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか？
自分が誰かの役にたつためには、**感謝**の心と**自己肯定感**を持つことが大切です！

★ **ＮＰＴ**は仁賀保高校プログラミング思考の略称です。ＮＰＴを意識して、学びを活性化しましょう。